

Mizuho Daily Market Report

2024/6/19

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	158.12	157.86	+0.12	+0.73
EUR	1.0724	1.0740	+0.0006	▲0.0001
AUD	0.6616	0.6656	+0.0043	+0.0050
SGD	1.3539	1.3509	▲0.0011	▲0.0021
CNY	7.2560	7.2539	▲0.0022	▲0.0005
MYR	4.7128	4.7133	▲0.0074	▲0.0057
THB	36.79	36.83	+0.02	+0.09
IDR	16405	16400	+0	+110
PHP	58.64	58.63	▲0.03	▲0.07
INR	83.41	83.41	▲0.15	▲0.16
VND	25453	25453	▲1	+10

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.223%	▲5.8 bp	▲18.1 bp
日本(10年)	0.942%	+0.7 bp	▲8.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.396%	▲1.8 bp	▲22.6 bp
オーストラリア(5年)	3.883%	+5.1 bp	▲13.8 bp
シンガポール(5年)	3.199%	+3.2 bp	▲4.7 bp
中国(5年)	2.054%	▲0.6 bp	+0.1 bp
マレーシア(5年)	3.657%	+0.2 bp	▲0.4 bp
タイ(5年)	2.493%	+0.8 bp	▲1.1 bp
インドネシア(5年)	7.099%	+0.0 bp	+13.6 bp
フィリピン(5年)	6.371%	+1.2 bp	▲4.3 bp
インド(5年)	7.010%	+0.1 bp	▲1.5 bp
ベトナム(5年)	2.100%	▲3.0 bp	▲4.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,834.86	+0.1%	+0.2%
N225(日本)	38,482.11	+1.0%	▲1.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,915.47	+0.7%	▲1.0%
ASX(オーストラリア)	4,467.95	+0.7%	+0.5%
FTSTI(シンガポール)	3,301.78	+0.1%	▲0.2%
SSEC(中国)	3,030.25	+0.5%	+0.1%
SENSEX(インド)	77,301.14	+0.4%	+1.1%
JKSE(インドネシア)	6,734.83	+0.0%	▲1.8%
KLSE(マレーシア)	1,606.13	▲0.1%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,368.80	▲0.2%	▲0.6%
SETI(タイ)	1,297.41	+0.1%	▲1.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,279.50	+0.4%	▲0.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	295.68	+0.9%	+1.0%
金	2,329.46	+0.4%	+0.5%
原油(WTI)	81.57	+1.5%	+4.7%
銅	9,532.27	▲0.0%	▲1.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	158.30
EUR/USD	1.0700	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.2780
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16500
USD/PHP	56.70	—	59.30
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円台後半でオープン、日銀総裁が財政金融委員会にて7月利上げの可能性について言及すると東京時間安値となる157円台半ばまで下押し。ただ下値での推移は短く、日経の上昇もあり水準を戻しに行く展開。この日は出来高も少なめで、換算に売り無しの様相。終盤にかけては欧州リスクの減速を再度読み込むような動きにユーロ円の買いが入り、ドル円も157円台後半まで上昇し、そのままの水準で欧州へ渡った。アジア通貨はドル指数が小幅高となる中、方向感に欠ける展開となっている。

海外時間のドル円は158円台前半でNYオープン。NY朝方は米5月小売売上高が予想を下回り、前回分も下方修正されたことからドル売りが持ち込まれ、157円台半ばまで反落する。しかし続いて発表された米5月鉱工業生産結果が予想を上回ったことからドルは下げ渋り、158円付近まで戻す。午後は、クーグラーFRB理事の「年内の利下げが適切となるだろう」との発言が伝わるが為替市場の反応は限定的となり、翌日の米休場を控え157円台後半での狭いレンジでの推移し、そのままクローズした。

【金利】

前日の米金利は下落。NY朝方は米5月小売売上高が予想を下回ったことを受け、米10年債利回りは4.29%台から4.24%を割り込む水準まで低下。その後も米金利低下は続き、一時4.20%台まで低下するも引けにかけてはやや水準を戻してクローズ。

【予想】

本日のドル円は堅調な推移を予想。本日は米休日の中、目立った指標もないことから値動きは限定的になると思われる。一方で、今朝方公表された日本の5月貿易統計は市場予想並みではあるものの、貿易赤字が継続しており、円買いに向かう要素は引き続き探しくい状況が続く。そのため、大きな値動きは限定的だと思われるが底堅い展開は継続するものと思われる。

【本日の予定】

(日本) 5月 貿易収支
(日本) 5月 首都圏新築分譲マンション
(アジア) 4月 インドネシア 毎月労働統計-共通事業所ベース 現金給与総額 前年比%
(アジア) 5月 インドネシア 貿易収支
(アジア) 5月 フィリピン 総合国際収支
(欧州) 4月 ユーロ圏 ECB経常収支
(欧州) 4月 ユーロ圏 建設業生産高
(欧州) 4月 愛 不動産価格
(欧州) 4月 英 住宅価格指数
(欧州) 5月 英 CPI/PPI
(欧州) 5月 英 小売物価指数
(欧州) 独 国債入札(30Y)
(米国) 6月 NAHB住宅市場指数
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。